

これまでの就学前教育・保育の経過と課題

1. 本市の就学前教育・保育の経過

平成19年度（就学前教育育成指針策定時）

幼稚園：公立8 私立1

保育所（園）：公立6 私立6

【課題】

- 子どもを取り巻く環境の変化
- 少子化・核家族化の進行
- 保育所ニーズの高まり
- 子育て不安
- 就学前の子どもに関する教育・保育のニーズの多様化
- 待機児童の社会問題化

平成27年 子ども・子育て支援新制度スタート

保育の「量」と「質」で子育てを支える

（本市）地域型保育事業所・こども園の増加等

【課題】

- 就学前教育・保育施設の多様化
- 保育士等の不足
- 教育・保育者の資質向上の課題
- 特別支援教育・障がい児保育のニーズの高まり

平成31年度

幼稚園：公立のみ8（うち沖島は休園）

（平成32年 岡山幼稚園のこども園化）

保育所（園）：公立2、私立12（うち3園は分園あり）

こども園：公立2、私立3

地域型保育事業：小規模保育事業所：私立7

家庭的保育事業所：公立1 私立2

2. 平成31年4月改訂「就学前教育・保育育成指針」

どの施設に通っていても、本市の就学前の子どもとして健やかに育つことを目指す。

(1) 目指す子ども像

「自分らしく いきいきと輝き 友だちとつながり合える子」

心も体も元気な子ども（健やかな心と体を育む）

夢中になって遊ぶ子ども（主体性を育む）

自分も友だちも大切に作る子ども（協同性を育む）

- ① 近江八幡市内の就学前施設に共通の目的をもった教育・保育の展開
- ② 近江八幡市の特色を生かした就学前教育・保育の展開
 - ・ 「早寝・早起き・あさ（あいさつ）・し（食事）・ど（読書）・う（運動・遊び）運動の展開」
 - ・ 主体性を育むことを大切にした教育・保育
 - ・ 人権を大切にした教育・保育
 - ・ ふるさと教育・保育
 - ・ 近江八幡市保育内容研究会の実施
 - ・ 特別支援教育・障がい児保育の充実
- ③ 幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領に即した教育・保育の展開

(2) 小学校以降の学びにつなげるために

- ① 幼児期の学びに向かう力をいかに育てていくか
- ② 就学前の教育の成果は保育者・教師にかかっている
- ③ 保育者・教師が子ども達に与える影響は極めて大きい。
- ④ 近江八幡の子どもを育てる＝公私の保育者・教師の資質向上
- ⑤ 小学校との円滑な接続